

# 町内の2遺跡出土 土器や黒曜石展示

## 井戸尻考古館で企画展

富士見町の井戸尻考古館(瀬沢区と富士見台区)の発掘調査の成果をまとめた、報告書の刊行を記念して実施。力所の遺跡から発見された土器や黒曜石など35点を展示。新たに見つかった町や地域の歴史の一端を紹介している。

7月2日まで。

蛇込遺跡(休戸区)と広原遺

跡(瀬沢区と富士見台区)の発掘調査の成果をまとめた、報告書の刊行を記念して実施。それぞれ2019年度と2021年度に調査を行っている。今回はえりすぐりの品を展示しているという。展示の一番の目玉は、種類の違う二つの土器が組み合わ



2カ所の遺跡から発見された土器が並ぶ企画展「町内遺跡の発掘と成果」と報告書を持つ副島蔵人さん

さっている「埋蔵」。蛇込遺跡から出土し、上には町内で見られる曾利式土器、下には松本市などを中心に分布する唐草文系土器がある。この状態で見つかるものは比較的珍しいという。

そのほか、大きささまざまな縄文土器や、調査に加わった富士見中学校の生徒が発見した黒曜石も並ぶ。同館学芸員の副島蔵人さんは「調査をした二つの遺跡はあまり知られていない。この機会に知ってもらい、調査の成果を見てもらいたい」と話している。

午前9時～午後5時。月曜日休館。入館料は大人300円、小中学生150円。問い

合わせは同館(電話0266・64・2044)へ。

(濱翔貴)